

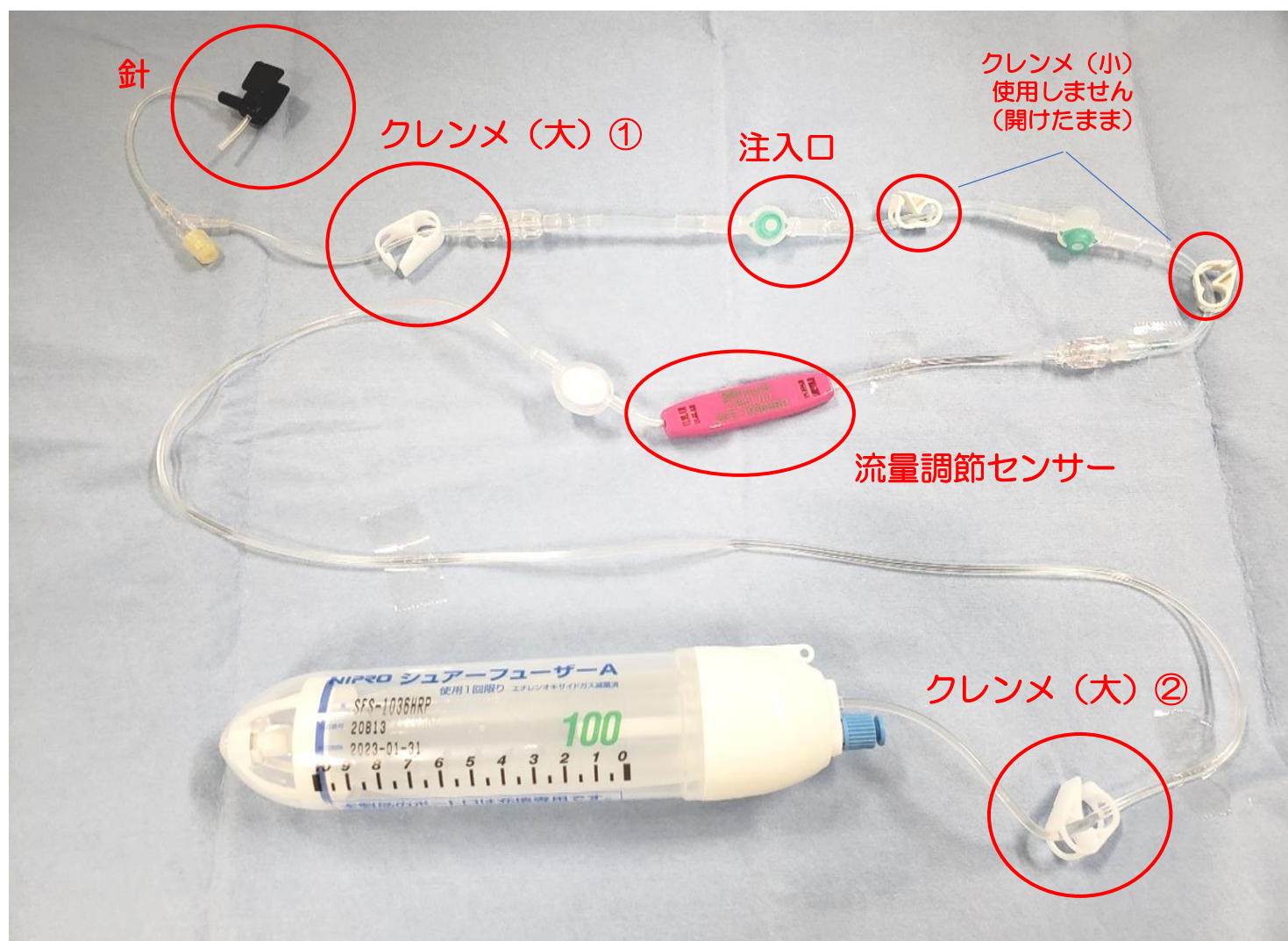
携帯型持続注入ポンプをご使用の方へ

治療の流れについて

～CVポートから点滴を行います～

- | | | |
|-----|----|---|
| 1日目 | 外来 | ① 外来で抗がん薬の点滴を行います。 |
| 2日目 | 自宅 | ② 抗がん薬が入った携帯型持続注入ポンプをCVポートにつないで自宅へ持ち帰ります |
| 3日目 | | ③ ポンプは <u>46時間または48時間</u> （治療内容により異なります）で終了するように作られていますが、 <u>5時間前後の誤差</u> はあります |
| | | ④ 終了したら、針を抜きます |

携帯型持続注入ポンプについて

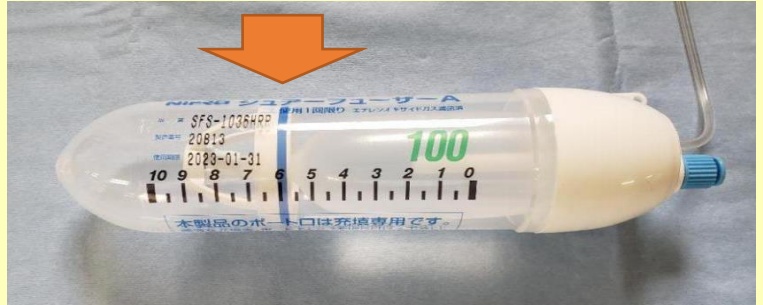


* 日常生活で確認すること *

①薬液が減っているか目盛りの位置を1日3回程度（朝・昼・晩）
チェックして下さい

※分かりにくい場合は、ポンプにマジックで線を引いてもかまいません

②針の部分のテープや流量調節
センサーのテープがはがれて
いないか確認してください



* 日常生活のポイント *

通常の生活ではポンプは専用の袋に入れて、首から下げたり、内ポケットに入れたりして使用します

チューブを首から出すようにすると、衣服の着脱は簡単にできます

- ①針の部分やポンプをぶつけない、針部分を濡らさない
- ②チューブを引っ張ったり、折り曲げたりしない
- ③クレンメなどが体に当たって痛い時は、クレンメを絆創膏やサランラップで巻くと痛みが和らぎます
- ④運転時にシートベルトが針部分に当たって痛いときは、タオルなどのやわらかいもので保護してください
- ⑤飛行機による気圧の変動はポンプの機能に影響を与えませんが、出張や遠方への外出、旅行などは事前に主治医に相談して下さい

* 就寝時について *

- ①専用の袋のひもは首から外し、ポンプは枕元においてください
- ②ポンプやチューブを身体の下に引き込み、割れることや閉塞することはほとんどありません

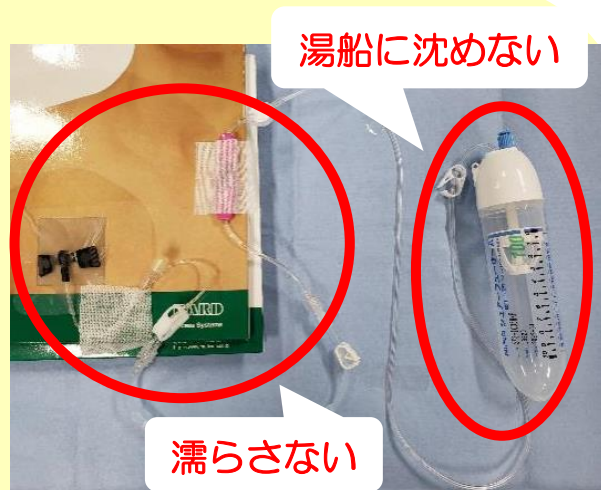
入浴・洗髪について

【ポンプ使用中】

① 下半身浴・下半身シャワーが可能です

※針や固定部分は濡らさないでください

※ポンプは湯船に沈めないでください
(濡れたら水分をふき取ってください)



②洗髪はケープを使用したり、タオルを巻いたりして、針部分が濡れなければ可能です

【針を抜いた後】

① 2時間ほどすれば、入浴（湯船）も可能です

② 絆創膏は剥がして入ってください

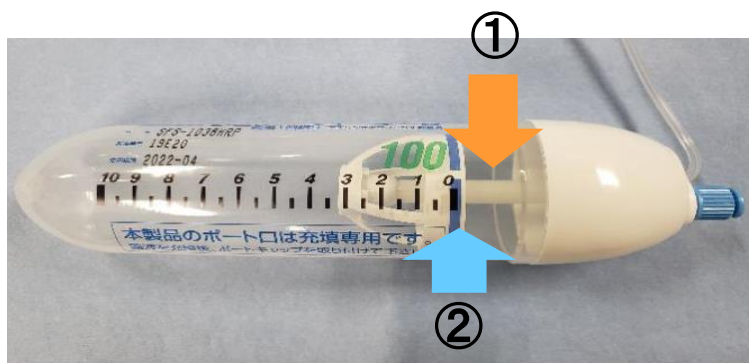
③ポート部分は強くこすらず、泡立てた石鹸で優しく洗いましょう

～自己抜針の手順～

1. 薬がすべてなくなっているか確認します

① バルーンが完全にしぼんでいる

② 目盛りが0（ゼロ）になってる



2. クレンメ(大)①と②の2か所を止めます

3. 手を石鹸でよく洗います



4. 必要物品を確認します

① アルコール綿（消毒綿） 2枚

② 発砲スチロールキューブ

③ 絆創膏

④ 廃棄用の袋（2枚）

⑤ テープ

⑥ 生理食塩水液シリンジ（注射器）



5. 鏡を見ながら、センサーを固定しているテープをゆっくりはがします



6. 生理食塩水でチューブとC Vポートの中を洗い流します

① 注入口をアルコール綿で消毒します



② シリンジを接続します

※シリンジを注入口に **押し付け** ながら
時計回りにしっかりしめる



③ クレンメ（大）①を開けて、生理食塩水を
【2～4ml ずつ】 【数回に分けて】
リズムカルに注入（ポンピング）します
※残り 約3～5ml 程度残しておいてください
※注入できないときは、クレンメ①が 開いて
いるか確認してください

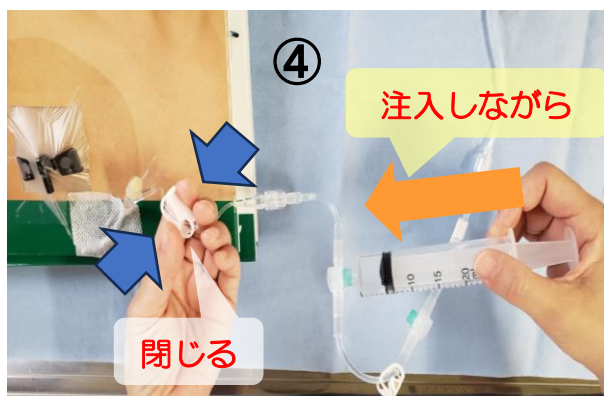
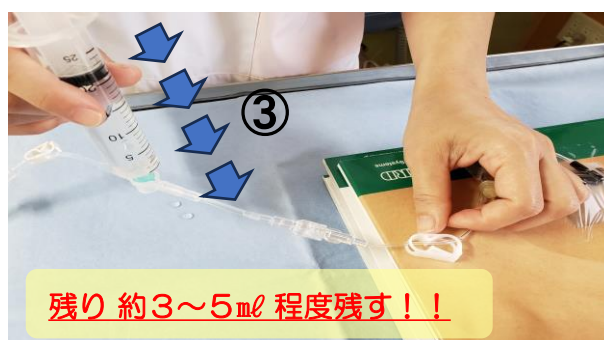
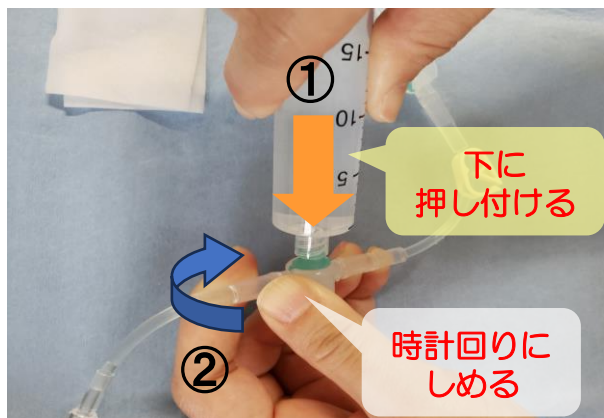


④ 残りの生理食塩水を **【注入しながら】**
クレンメ①を閉じます
※生理食塩水は最後まで注入しなくても OK



⑤ シリンジを注入口から外します

※反時計回りに回すと外れます（シリンジはご自宅で捨ててください）



7. 鏡を見ながら、針を軽く押さえた状態で、
針を固定しているテープを周囲から
ゆっくりはがします

8. 「利き手と反対の手」で皮膚の上からポート部を
押さえ、「利き手」で針の黒い羽をつかみ、
まっすぐ水平に抜きます



9. 抜いた針を発泡スチロールキューブに刺し、
針が抜けないように、**テープで固定** します

10. 針を抜いたあとをアルコール綿で消毒し
絆創膏を貼ります

※出血時はアルコール綿で2～3分
圧迫してください

※絆創膏は入浴時または翌日にはがして
ください
(皮膚トラブルの原因になります)



11. ポンプから針までを**廃棄袋**に**2重に入れ**、袋のチャックをしっかりと閉めてください



おねがい

次回外来受診時に通院治療センターに持参してください

※ ポンプから針までは医療廃棄物のため、ご家庭では廃棄できません

『ポンプから針まで 以外』のものはご家庭で廃棄可能です
(アルコール綿、シリンジ、絆創膏、ポンプを入れていた専用ネット など)

ご家庭で廃棄可能なもの

例)

- 消毒用アルコール綿
- 使用済みの生理食塩水液シリンジ
- ポンプ専用の白いネットの袋
- 絆創膏

など



こんな時はどうしたらいい？

CVポートやポンプの点滴が「おかしい」と思ったら、次のことをご確認下さい。

内容	確認内容	対処方法
(1) バルーンの大きさが変わらない（目盛りが変わらない）	・ クレンメが閉じていないか ・ チューブが折れ曲がっていないか ・ 針が抜けていないか ・ 流量センサーが外れていないか	⇒4か所すべてのクレンメを開けて下さい。 ⇒チューブをまっすぐに直して下さい。 ⇒(2)の針が抜けた時と参照して下さい。 ⇒(4)の流量センサーがはずれた時を参照して下さい。
(2) 針が抜けた		⇒クレンメ①②を閉じて下さい。 「自己抜針の手順」の9～11」を参照して下さい。
(3) チューブの接続が外れた		⇒クレンメ①②を閉じて下さい。 「自己抜針の手順」を参照し、針を抜いて下さい。
(4) 流量センサーが外れた、または外れかかっている		⇒ご家庭にあるテープや絆創膏でセンサーを貼り直して下さい。 ⇒センサーは、文字が書いてある表面が見えるように貼って下さい。 ⇒流量センサーは、感知する温度によって速度に影響が出ます。温度センサーはお肌に密着させて固定して下さい。

こんな時は病院に連絡しましょう

- 針を刺している部分に
痛みがある、または痛みが強い時
赤くなっている時
腫れている時
- 「こんな時はどうしたらいい？」の対処方法を行っても改善しなかった時
- 注入ポンプやチューブに破損が生じた時
- チューブ接続部から薬漏れが生じた時

連絡先：八尾市立病院 （０７２）－９２２－０８８１

９：００～１６：３０⇒各診療科に連絡してください。

夜間や土日祝日の場合は、救急外来の対応となります。

※状況と時刻をメモしておいて下さい。